

第95回蒲郡市新型コロナウイルス感染症対策本部議事概要

(1) 蒲郡市の感染状況について

【事務局】

7月23日時点で、直近1週間の感染者が464人でレベル4相当、前1週間の比が上昇でレベル4相当、市民の入院者数が2.9人でレベル3相当、療養者数が427人でレベル4相当、市の陽性率は7月17日時点で23.0% (暫定値)とレベル4相当、県の確保病床使用率は7月19日時点で30.4%とレベル3相当。

【中山感染症対策本部会議アドバイザー】

新型コロナウイルスは弱いものから強いものに置き換わる時に波になるということが分かっている。「BA.5」はオーストラリアなどで5月頃に波が来ており、様々な国で流行を起こしているが、日本においても東京や愛知県でもオミクロン株の中の「BA.1」「BA.2」から「BA.5」に7割ほど置き換わってきている。ワクチン接種からの時間経過による集団としての免疫の低下、行動制限緩和による人流の増加、エアコンの使用による換気不足も感染拡大の要因の1つと考えられる。第7波では、感染力は非常に強いが重症化や死亡のリスクはこれまでのオミクロン株とほぼ同程度とされている。

第6波と比べると、高齢者や基礎疾患を持っている方の3回目のワクチン接種が済んでおり、4回目については蒲郡市において高齢者の40%程と、以前よりワクチンが普及している分、現時点においては重症者が少ないのだと思われる。現時点では重症者が少なくても、感染者が増えれば比例して重症者の数も増えることになる。医療の逼迫が起きると、通常受け入れられる救急車の受け入れもできなくなってしまうので、新型コロナウイルス感染症以外の疾患への影響が懸念される。

感染拡大を抑えるには一人一人が現在の感染状況を把握して感染対策を徹底することが必要。具体的には屋内でのマスク着用、こまめな手洗い、部屋の換気、不要不急の会食は避けるなど。特に会食についてはリスクが高いため、会食をする際であっても少人数で短い時間、マスクを外す時間を短くし、大声を出さないなど注意が必要。少しでも体調が悪く感じたら人混みや外出を避けるなどの周知もしていただきたい。

ワクチンの接種率について、オミクロン株への感染予防効果は段々低くなっ

てきているが、「重症化率を下げること」や「後遺症の予防効果が依然として高い」という多くのデータが出ている。高齢者や基礎疾患のある方へのワクチン接種を進めていただきたい。ワクチンを打った方と打ってない方で感染後の症状の重さが違うので、症状を緩和するという意味でも迷っている方には接種を勧めていただきたい。小児のワクチン接種率は低いが、接種後の副反応が少ないこと、稀に重症化することもあること、現在の流行の主座が子どもであること、今後インフルエンザが流行していくことなど、子どもたちにも接種が必要であるという提言も出ているので、迷っている方がいればぜひ勧めていただきたい。

(2) 今後の対策について

警戒レベル3を継続し、感染防止対策の徹底を強く呼びかけていくこととする。感染状況について注視し、変化が生じた場合には速やかに対策本部を開催する。

【決定事項】

- ・警戒レベル3を継続する。
- ・各媒体により感染状況や感染防止対策等について周知する。
- ・感染状況について注視し、県や国の対策が強化された場合や市の感染状況に変化が生じた場合には速やかに対策本部を開催する。